

アセスメント結果シート

利用者情報

利用者氏名： A
生年月日： 2002年7月1日
居住地： 東京都文京区
連絡先： 090-1234-5678

本人に関する情報

本人の就労等の希望：

●●大学の3年生です。就職についてはまだ漠然としていて、どのように考えたらいいのか、分かりません。IT業界に興味はありますが、何となく厳しそうで、自分に出来るか心配です。就労選択支援を受けると、適性の評価や将来の可能性について情報提供してもらえると聞きました。1ヶ月間体験してみて、自分の適性を知りたいと思っています。

職種・仕事の内容に関する希望：

まだ決まっていませんが、自分のペースで長く続けられる仕事が見つかるとうれしいです。

希望する合理的配慮：

新しいことや環境は苦手なので、詳しい指示やマニュアルなどで、どうすれば良いかを明確に示してもらいたいです。

希望する支援：

IT業界で働いている障害者は、どのような働き方をしているのか等、話を聴いてみたいです。

家族の意向：

健康を損なわず無理なく働ける職種に就いてもらいたいです。将来的には経済的に自立できるように、長期的なキャリアプランをたてる等の支援をしていただきたいです。

アセスメント期間

2025年12月1日～12月28日

期間中の取り組み

【研修受講】

- 12月3日(水) IT研修 (PC操作1)
- 12月5日(金) BP研修 (企業で働くとは)
IT研修 (PC操作2)
- 12月8日(月) BP研修 (企業の原則)
実務研修 (タイピング練習)
- 12月9日(火) BP研修 (仕事で成功するための基本)
- 12月10日(水) IT研修 (Office/Excel)
IT研修 (プログラミング1)
- 12月12日(金) IT研修 (プログラミング2)
- 12月15日(月) 実務研修 (グループディスカッション) 計10コマ履修



【その他支援】

- 12月15日(月) 精神科医師によるカウンセリング

アセスメント結果

強み・できていること：

IT研修では、Excelやプログラミングに挑戦しました。始めは、少し数学的な考え方に慣れず苦勞されたようですが、徐々に理解を深め、プログラムの成り立ちについて把握されました。繰り返し取り組むことで出来るようになる学習能力の高さが強みと言えます。

実務研修では、グループディスカッションにおいてリーダー役を買って出て頂き、メンバーの意見をまとめる役割を担いました。自分の意見を押し付けることなく、メンバーの考えをうまく引き出す等、ヘルプする力を発揮していただきました。

BP研修では、企業の原則を3回に分けて学んでいただきました。初めて取り組む内容だったようですが、持ち前の理解力の高さで、行動理論の重要性に気づけたようです。

就労に向けて取り組んでほしいこと：

プログラミングについては、概略は理解できたと思いますが、実際にプログラミングが出来るようになるには、引き続きの学習と演習問題を沢山解く経験が必要となります。今は、ネット動画などでも解説を聴くこともできるので、そうしたもので自習してみるのも良いでしょう。BP研修で学んだ行動理論も同様で、適切な仕事観で物事を判断する経験を積みましょう。精神科医のカウンセリングでは、就職についての不安を話されました。人間は、自分にとって未知のもの、正体の分からないものについて不安を感じます。就職とは何かを完全に理解するのは難しいですが、それでも、少し解像度を上げることで不安感を和らげることが出来るかもしれません。今後も色々な情報に接し、時には体験することで、自分にとっての就職とは何か、理解を深めて行ってください。

支援機関から提供する（した）情報：

併設の就労移行支援事業所ベルーフから、IT業界に就労した人の事例を紹介しました。強みとして、「高い学習能力」「高い理解力」「メンバーをヘルプする力」が見られましたので、適性の評価としてフィードバックしました。その他、IT関係の学習サイトの情報、IT業界に就職する場合に取得を目指す良い資格などについても情報提供しています。

将来の可能性：

大学での専門はIT系ではないようですが、ご本人の興味や意欲があるようでしたら、学習することによりエンジニア職での就職も十分考慮して良いと思います。その場合、文系学卒者の新人研修を丁寧に行うIT企業も多くありますので、そうした情報も集めてみると良いでしょう。理解力・学習能力は高いので、興味のあることから学んでみてはどうでしょうか。ご家族の意向として、将来的な自立が上がっていますが、障害者就労の場合、一般事務職よりもIT専門職の方が、給与が高いという分析もあります。合理的配慮・支援機関のサポートを得ながら、エンジニアとして働く選択をすることも、可能性として考えられると思います。

必要な支援と配慮：

本人の心情を第一とした、関係機関による情報提供
本アセスメント結果を踏まえた、医療機関・支援機関による定期的な相談支援

総合コメント：

今回のアセスメントにより、IT系の職種について十分可能性があることが示されましたが、持ち前の理解力、学習能力の発揮により、どのような職種でも、一定の成果をあげることは出来ると考えられます。

本人からの感想

本人からの感想：

研修を受けてみて、会社について学べたのが大きかったです。

また、不安は未知のものだから感じる、という言葉に、納得しました。

自分にとって就職はまだ未知のものですが、これから少しずつ考えて行きたいと思います。

今後の希望：

大学のキャリアセンターや学生相談室のカウンセラーと、今後の事について話し合いを続けたいです。

準備性評価結果

就労準備性		
カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. 勤怠	勤怠実績が基準を満たしている。	S (十分達成)
2. 外見	清潔感のある服装をしている。 健康さを感じさせる姿勢と動作である。 適度な声の大きさと、話す言葉が明瞭である。	A(ほぼ達成)
3. 取り組み姿勢とベスト意識	経験の有無、得手不得手、好き嫌いに 関わりなく物事に取り組むことができ ている。 改善意欲があり、常にベストを目指し、 工夫できている。	A(ほぼ達成)
4. 自己主張・傾聴・調整	自己主張と傾聴ができている。 他の人との違い（考え方、意見）を理解 できている。 解決に向けての議論・調整ができている。	S (十分達成)
5. 果敢さと慎重さのバランス・QCD意識	チャレンジ精神が旺盛であると共に検討 が緻密である。 失敗しても投げ出さず、次に向けて改善 策を考え、行動することができている。 常にQCD意識を持って発言・行動が できている。	A(ほぼ達成)

6. 準備と必達意識	全体を俯瞰してから作業を開始することができている。 一日の訓練開始5分以上前に、その日の作業開始の準備ができている。 諦めずに最後までやり切ることができている。	C(未達成)
7. 自主性	人の発言、ネットでの発言ではなく、自分の理解・考えで発言・行動できている。	S(十分達成)
8. 報告	漏れなく、重複なく、タイムリーに、短時間に報告ができている。	B(やや未達成)

職業準備性 (ビジネス)

カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. 企業理解	企業が社会から求められていることは何かを正しく理解出来ている。	A(ほぼ達成)
2. 仕事観5つの基本－貢献による報酬の基本	企業で働くとは、顧客の創造に貢献することであると理解出来ている。	A(ほぼ達成)
3. 仕事観5つの基本－職業人の基本	プロとして働く心構えと、技術を磨く練磨の必要性を理解出来ている。	B(やや未達成)
4. 仕事観5つの基本－人間関係の基本	職場での人間関係について適切に理解し、スムーズな連携をつくる事が出来る。	未実施
5. 仕事観5つの基本－組織活動の基本	仕事観5つの基本－組織活動の基本	未実施
6. 仕事観5つの基本－自己実現の基本	業務にあたり、適切に創意工夫を取り入れ、自主的に取り組む事が出来る。	未実施
7. 応対コミュニケーションの習得	基本的な応対コミュニケーションが出来る。	未実施
8. 就労マーケティング発想の理解	就労市場において、自分の強いを正しく理解し、発揮できる企業とのマッチングを図ることが就労活動であることを理解している。	未実施
9. 就労活動準備 (書類作成・面接 RP)	基本的な就労活動の準備が出来ている。	未実施

職業準備性 (IT)		
カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. PC 操作スキル	PC を使ったブラウザやメール、Office の操作の基本的な操作が出来る	A(ほぼ達成)
2. PC ハードウェアの基礎知識	コンピュータやネットワークの仕組みを理解している	B(やや未達成)
3. プログラミングの基礎スキル	何らかの言語を使って自力でプログラムを書くことができる	C(未達成)
4. IT 関連ツールの操作スキル	新しいアプリケーションでも外部情報等を参照しながら自力で使うことが出来るようになる	B(やや未達成)
5. ネットワークの基礎知識	インターネット等ネットワークの基本的な仕組みを理解している	未実施
6. データサイエンスの基礎知識	統計学の基本的な概念 (平均、分散、相関、回帰)、データ分析の目的について理解している	未実施
7. WEB フロントエンドの基礎スキル	WEB サイト構築の知識があり HTML や CSS を簡単な WEB サイトを書くことができる	未実施
8. 情報セキュリティの基礎知識	個人情報保護、ウイルス対策、不正アクセス対策など、基本的な情報セキュリティの脅威と対策の概念を理解している。	A(ほぼ達成)
9. IT 分野の問題解決能力	IT 機器やアプリケーションのトラブルを自力で解決することができる	C(未達成)
10. IT 新技術への学習意欲	新しい技術について興味を持ち学習に取り組める。業務に必要な技術は自力でキャッチアップできる。	B(やや未達成)